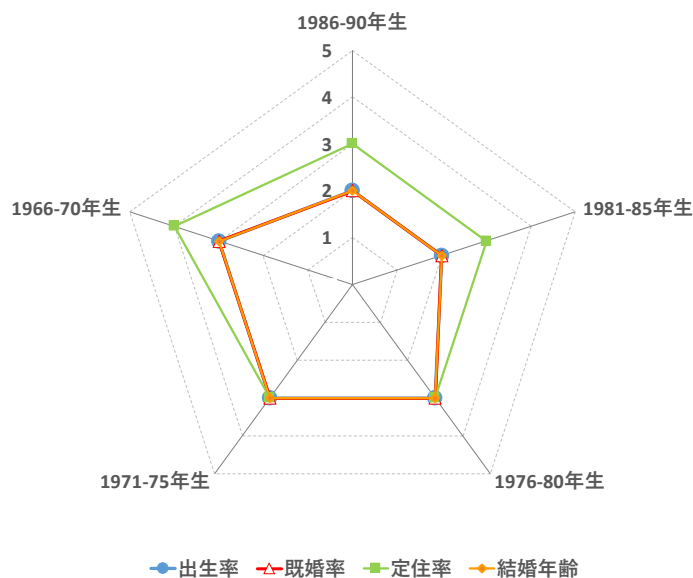


## (16) 阿賀野市

### ① 出生に関する総合評価

図16-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

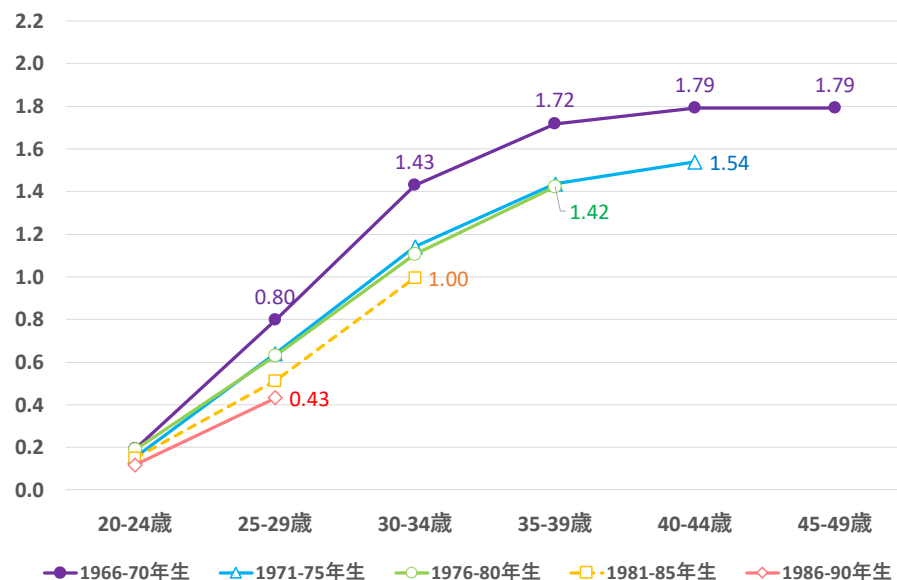
1. 合計出生率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは中位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは下位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは中位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは下位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれは上位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは中位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは下位である。

### 【総合評価】

1. 阿賀野市は、すべての変数が中位程度に集中している。既婚率、結婚年齢及び出生率は、すべて同じ順位に位置しており、1970年代後半生まれまでは中位であるが、80年代生まれのコホートでは下位に属している。
2. 1980年代生まれコホートの女性既婚率はそれ以前と比べてさらに低下傾向にあり、特に80年代後半生まれコホートの25-29歳までの女性既婚率と合計出生率がそれ以前のコホートよりも大きく低下している。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半から1人を下回っており、80年代前半生まれは0.8人強まで減少している。さらに、25-29歳の出生率が一貫して減少傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。

## ②コホート合計出生率

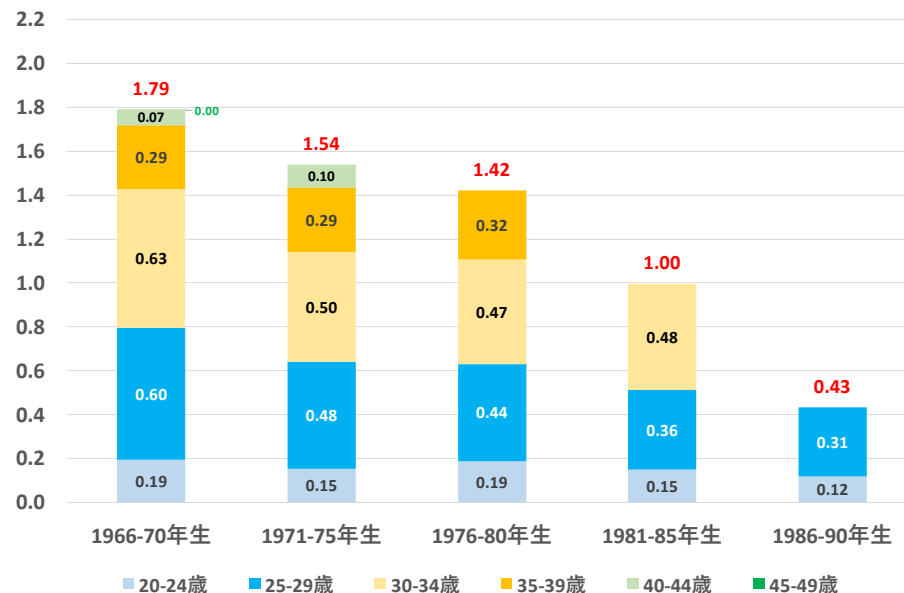
図 16-2 コホート合計出生率の推移



注：. 新潟県「福祉保健年報」より作成.

- ・ 図 16-2 は、阿賀野市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1981-85 年生まれ以降のコホートではさらに 25-29 歳以降の合計出生率が大幅に低下している。

図 16-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

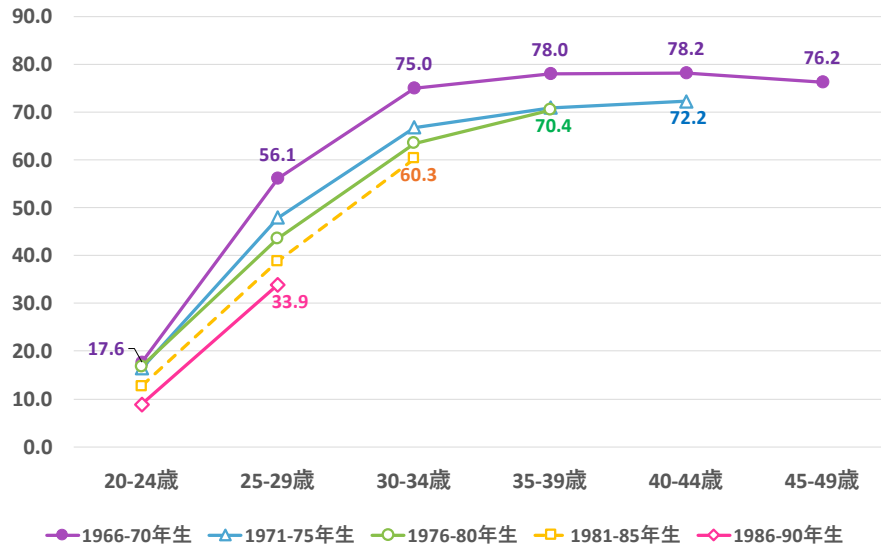


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 16-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.79 人に対して、1986-90 年生まれは 0.43 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.92 人に対して、1976-80 年生まれは 0.79 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.84 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

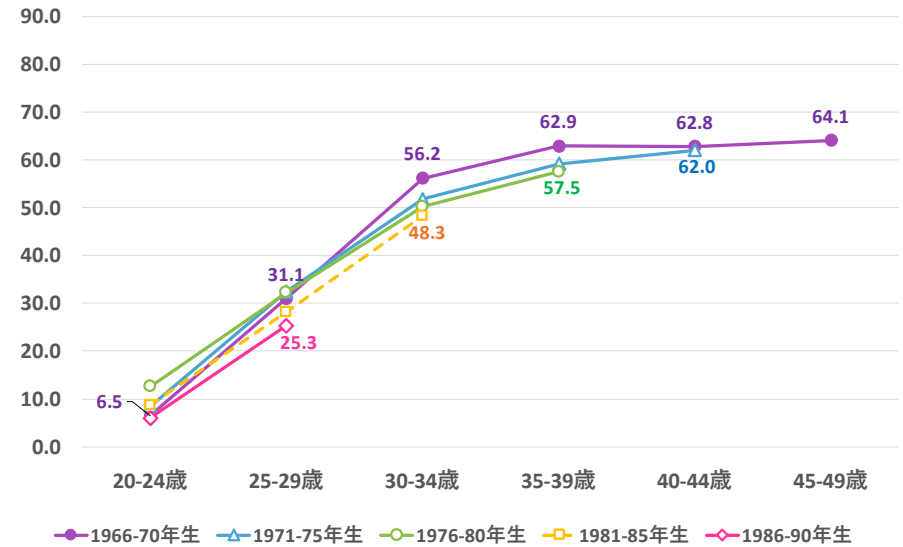
図 16-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 16-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の大きな低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 56.1%から 1986-90 年生まれは 33.9%へと 22.2 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 78.0%から 1976-80 年生まれの 70.4%へと 7.6 ポイント低下している。

図 16-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

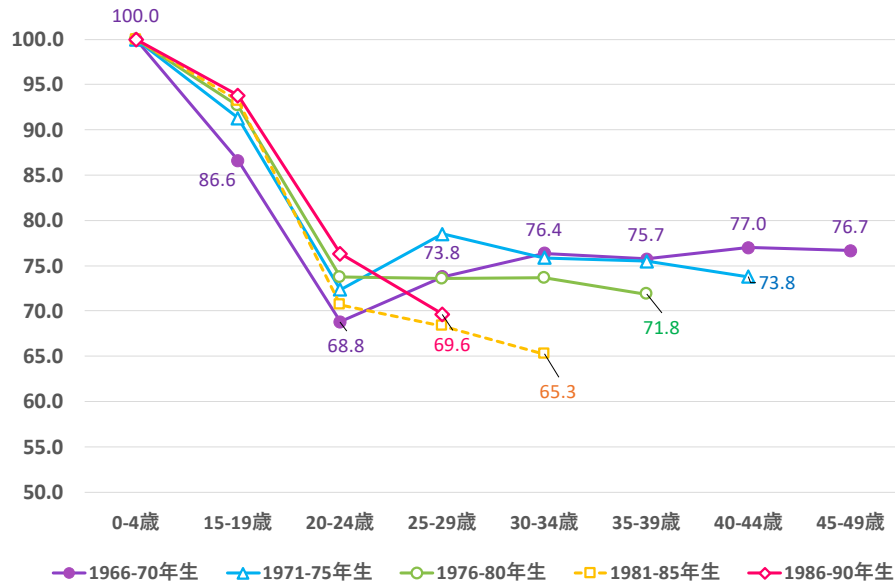


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 16-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 31.1%から 1986-90 年生まれは 25.3%へと 5.8 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 62.9%から 1976-80 年生まれは 57.5%に 5.4 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 16-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

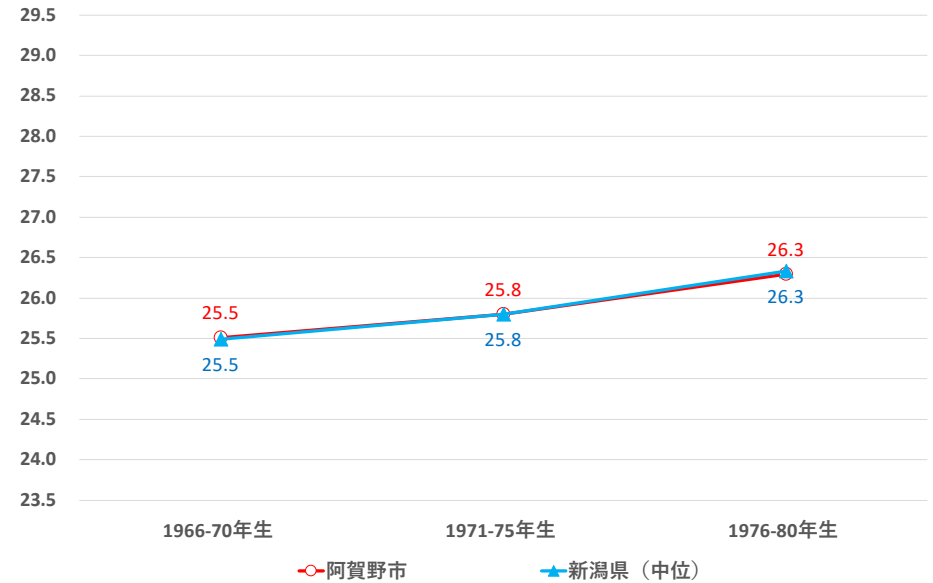


注：0-4歳人口=100. 「国勢調査」より作成.

- ・ 図 16-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している.
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの73.8から1986-90年生まれは69.6に4.2ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの75.7から1976-80年生まれは71.8に3.9ポイント減少している.
- ・ 阿賀野市では、25-39歳時でみると、1976-80年生まれ以前は0-4歳時点の70%台を維持していたが、1980年代生まれ以降は60%台後半まで低下した.

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 16-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

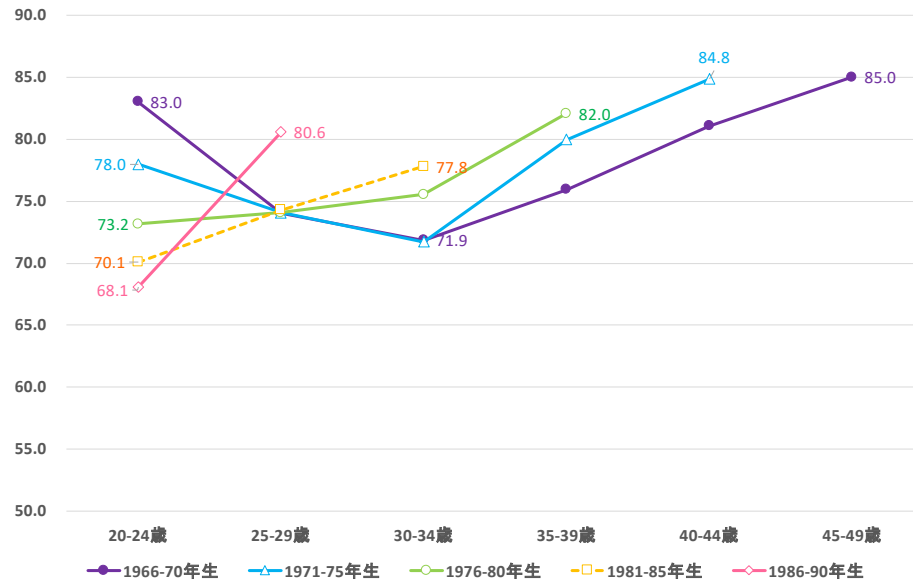


注：「国勢調査」より作成.

- ・ 図 16-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している.
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.5歳、25.8歳、26.3歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.8歳だけ平均結婚年齢が遅れている.
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は17位、1971-75年生の県内順位は14位、1976-80年生は14位と平均結婚年齢が県内平均(中位)程度の自治体となっている.

⑥コホート別女性就業率

図 16-8 コホート別女性就業率 単位：%

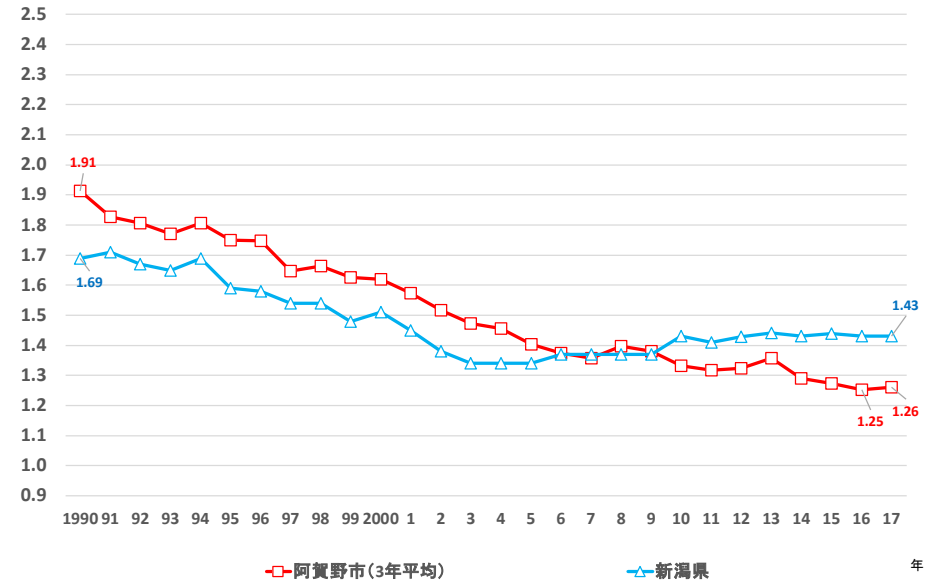


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 16-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 71.9%であったのに対して、1981-85 年生まれは 77.8%に上昇している。
- ・ 1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 16-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 16-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と阿賀野市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降、阿賀野市の期間合計特殊出生率は新潟県平均より高水準で推移してきたが、2010 年以降は新潟県平均を下回り、差が拡大している。しかし、期間平均では 0.04 ポイント高い。
- ・ 1990 年以降の阿賀野市の期間合計特殊出生率は、長期的な低下傾向にある。1990 年は 1.91 であったが、2017 年には 1.26 まで大幅に低下している。